

「今月の顔」ロベルト・フラカッシーニさん Vol. 99
～南の島でルネッサンス～

小さいグアム島でも国際化が進み、インターナショナルなムードの昨今です。今月は準会員（現在18名が登録）のロベルト・フラカッシーニさんにお話を伺っています。

Q: ご出身と簡単なご経歴をお願いします。

A: イタリアのフィレンツェが私の故郷です。フィレンツェはご存知のように、16世紀メディチ家の隆盛と共にルネッサンス文化で栄えた町です。



町中に遺跡や彫刻が溢れ、幼少の頃は其中で遊んでいました。子供の頃から音楽が好きでクラシックを勉強しながらクラリネットを演奏、その後ジャズや、ポップミュージックへと音楽の輪を広げていきました。

Q: グアムの前は日本にいらっしゃったと伺いましたが。

A: ミュージックプロデューサーの目に留まり、1965年から72年まで日本で音楽演奏をするチャンスに恵まれました。北海道から九州までラテンミュージック・バンドとしてツアーを行い、忙しいながら大変楽しい毎日でした。一緒にグループの仲間には、「ヒデとロザンナ」のロザンナのおじさんのマリオもいました。東京赤坂にあったナイトクラブ、コパカパーナで歌手のアイ・ジョージ（現在50代以上の方はおそらくご存知では？）と一緒に出演したりもしていました。

Q: 当時、特に思い出に残っている事はありますか？

A: 日本でのツアーは車でのロードトリップでしたが、70年代半ばにオイルショックとなりガソリン代が高騰しました。その時、知り合いだった下町浅草の世話人のおじさんがガソリンを分けてくれたり、日本の津々浦々で日本人のやさしい人情に触れた事が今でも忘れられません。

Q: その後のグアムでの事をお聞かせ下さい。

A: 台風パメラが来る前、76年にグアムにきました。ホテルオークラがちょうど建設中の頃です。当時、「センチューリー21」というディスコがあったのですが、（現在の不動産屋さんとは別）そこのミュージック・プロデューサーをしていました。今は、グアムの北マリアナ連邦のイタリア副領事 (Vice-Consul of Italy) をしています。以前、サンフランシスコにあったイタリア領事館がなくなり、副領事という今のポジションは私の年齢のせい（笑）でしょう。今でも好きな音楽は続けており、セッションなどでジャズフルートの演奏も時々行っています。

Q: ロベルトさんの今現在の夢はありますか？

A: 昨年から今年にかけて、日本の東京と京都で行われた「ウフィツィ・ヴァーチャル・ミュージアム」を何とかこのグアムで開催出来ないものかと考えています。これはフィレンツェ美術館特別監督局と日立製作所のプロジェクトによる、高精細デジタル化によってウフィツィ美術館にある名画の数々を実物大レプリカとして展示、鑑賞の出来るという、アートとテクノロジーが一体化した大変画期的なイベントです。この島でミケランジェロやダ・ヴィンチの名画の数々を披露する事ができれば、フィレンツェ出身者の私としては、大変嬉しい事だと思っています。素晴らしいプロジェクトではあるのですが、実際今のところはスポンサーを探す事に大変苦労をしています。ご興味のある方には、ぜひご賛同頂きたいと思っています。

このグアムで、子供達を含む多くの方がルネッサンス文化に触れる機会が出来れば、きっと素晴らしい事でしょう。遠いヨーロッパとグアムとを繋ぐ架け橋となるべく、ロベルトさんの努力と情熱は続きます。お仕事の傍らの生きがいは、「音楽、そして詩や小説を書く事。」とのお答えは、さすが古の芸術の町に生まれ育ったアーティストならではの、やさしい笑顔がとても素敵なジェントルマンでした。

インタビュー：芳賀 悦子



FIESTAN TASI

WEDNESDAY NIGHTS FROM 6 PM - 9 PM

Your choice of the freshest seafood on ice cooked to your liking, complemented by a selection of appetizers, salads, sides and desserts from our extensive buffet. All-you-can-drink Miller Beer and iced tea.

SEAFOOD BUFFET

\$38*
ONLY

For reservations, call 646-DINE

* Price subject to a 10% service charge. Discounts are applicable.



Hilton
GUAM RESORT & SPA